

瘍 5 例全例, および良性腫瘍 9 例中 3 例において認められた。悪性腫瘍では, 分泌機能の良好な症例においても Ga の強い集積を認めたのに対し, 良性腫瘍で Ga の強い集積を認めた 3 例は, いずれも分泌機能が低下しており, そのため, Ga が唾液腺部に貯留したことが一因と思われる。以上の結果から, Ga シンチグラフィに, Tc による排泄機能検査を組み合わせる方法は, 唾液腺腫瘍における良性, 悪性の鑑別に有用な手段であることが示された。

5. 甲状腺疾患における $^{201}\text{TlCl}$ -functional image (wash-out rate)

山本 洋一 吉田 祥二 小川由紀子
浜田富三雄 小川 恭弘 前田 知穂
(高知医大・放)
赤木 直樹 (同・放部)

甲状腺における TI-201 の動的变化を early image と delayed image から washout rate を求め, functional image として表示することによって甲状腺結節の質的診断を試みた。Functional image の作成には back ground subtraction 法を用いた。対象は組織診断の得られた 9 例で, 正常例での washout rate は 65~75% で, ほぼ均一であった。慢性甲状腺炎では 55~85% で, 非常に不均一であった。濾胞腺腫では 55~75% と正常よりやや低値であった。腺癌ではそれよりさらに低く, 35~70% であった。シンチグラム上は同様の集積像を示す場合でも, 良性, 悪性の結節の washout rate には若干の差がみられ, これによって, その質的診断が可能になるものと思われる。

6. 1 秒率正常者のエアロゾル肺吸入シンチグラフィ

須井 修 嶋津 秀樹 竹治 励
渡辺 紀昭 (徳島大・放)

(1) 1 秒率正常者のエアロゾル肺吸入シンチグラム (39 例) を検討し, 以下の 3 つの type に分類した。

Type 1: homogeneous distribution without central airway deposit

Type 2: homogeneous distribution with central airway deposit

Type 3: inhomogeneous distribution

(2) type 1 と type 2 との間では, $\text{FEV}_{1.0}\%$, MMF,

$\dot{V}_{50}$, $\dot{V}_{25}$, $\dot{V}_{50}/\dot{V}_{25}$ に有意差は認められなかった。

(3) type 3 は type 1 および type 2 との間に $\dot{V}_{25}$ でそれぞれ有意差を認めた ($p<0.002$, $p<0.05$). $\dot{V}_{50}/\dot{V}_{25}$ では有意差はなかったが, type 3 の 3 例中 2 例はかなりの高値を示した。

7. Sarcoidosis における ^{67}Ga シンチの臨床的意義

新屋 晴孝 平木 祥夫 森本 節夫
竹田 芳弘 江添 弘 林 英博
山本 博道 白神 敏明 山本 淑雄
清水 光春 黒田 昌宏 青野 要
(岡山大・放)

未治療の肺サルコイドーシスの患者 25 例について, ^{67}Ga シンチ, BAL 中のリンパ球数, S-ACE 値を対比させ, 肺病変の活動度判定における ^{67}Ga シンチの有用性について検討した。

(1) Ga の肺野集積群で BAL 中のリンパ球数の比率の増加を高率に認めたが, リンパ球数の比率増加群でも, 肺野に集積の見られないものもみられた。

(2) Ga の肺門集積群でも, BAL 中のリンパ球数の比率の増加を高率に認めた。

(3) Ga の集積と S-ACE 値の間には, あまり相関がみられなかった。

Ga 集積群では, 胞隔炎の存在が高率に示唆され, Ga シンチは, 肺サルコイドーシスの活動度判定に有用であると思われる。

8. 部分的肺静脈還流異常の 1 例

沢田 章宏 吉田 祥二 森田 莊二郎
森田 賢 前田 知穂 (高知医大・放)
小原 秀一 小谷 了一 (同・放部)

本例は心雑音と胸部レ線像での異常陰影 (大動脈弓から左第 2 弓にかけて) と心肥大がみられ, RI angio の 2 秒間隔連続イメージ像で左右シャントパターンがみられた。500 msec 間隔での画像再表示により, 異常還流静脈が描出され, PAG により部分的肺静脈還流異常と確診された。

RI angio において左右シャントパターンをとる場合, ASD のみでなく, uncommon case ではあるが, 部分的肺静脈還流異常も考慮しておくべきであることと, 短い間隔での画像再表示をすれば, 異常還流静脈をより明瞭